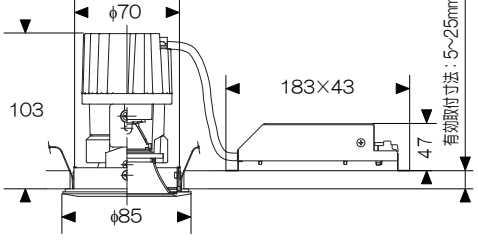


調光について

- 調光範囲は5%～100%です。
- 調光用コントローラは、専用のものをご使用ください。
- 調光用コントローラによっては下限値で光がちらつくことがあります。下限設定可能な調光用コントローラをご使用ください。詳細についてはお問い合わせください。

定格表

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

切込寸法 (単位mm)	器具タイプ	カタログNo. / 型番	LED光源タイプ	配光	器具寸法
75 $\frac{3}{8}$	ベース  1100lm	J542AN/OAJJ-C4B2-1N	電球色タイプ(2700K)	20°	調光仕様 逆位相制御 5~100%
		J542BN/OAJJ-C5B1-1N	電球色タイプ(3000K)		周波数 100V 50/60Hz
		J542CN/OAJJ-C6B7-1N	温白色タイプ(3500K)		入力電流 0.15A
		J542DN/OAJJ-C7B4-1N	白色タイプ(4000K)		消費電力 15W
		J543AN/OAJJ-C8B1-1N	電球色タイプ(2700K)		仕上げ 反射鏡：アルミ 電解研磨クリアアルマイト後クリア塗装 本体：ADC 黒色塗装 トリム：ADC 白色塗装
		J543BN/OAJJ-C9B9-1N	電球色タイプ(3000K)		質量 0.7kg
		J543CN/OAJJ-D0B1-1N	温白色タイプ(3500K)		被照射面限度距離 0.1m
		J543DN/OAJJ-D1B7-1N	白色タイプ(4000K)		保護等級 IP42(防滴2型)
	ウォッシュライト  1100lm	J544AN/OAJJ-D2B4-1N	電球色タイプ(2700K)	40°	
		J544BN/OAJJ-D3B1-1N	電球色タイプ(3000K)		
		J544CN/OAJJ-D4B9-1N	温白色タイプ(3500K)		
		J544DN/OAJJ-D5B6-1N	白色タイプ(4000K)		



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売所・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「各部のなまえと取付かた」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  0570-550-575
(全国共通番号) 

受付時間（土日祝を除く）10：00～17：00

通話料はお客様のご負担となります
PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>

取扱説明書

・GEM・ 75SERIES DOWNLIGHT 軒下



yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいますこと誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

ご注意：電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されています。

目次

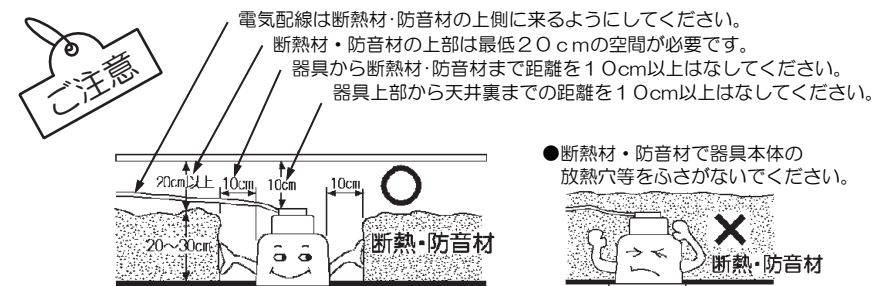
- 1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2 ページ：各部のなまえと取付けかた
- 3 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意、保守とお手入れ
- 4 ページ：調光について、定格表、アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警告

!	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事が必要な場合は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
⚠	火災のおそれがあります ◇断熱材・防音材で覆わないでください。 ◇器具本体に屋内配線を接触させないでください。
⊘	漏電火災のおそれがあります ◇器具を取付ける天井に凹凸がある場合は、器具取付時のパッキンが十分に押えられず防水・防湿性が損なわれますので、防水シール材で凹凸をなくし、平らな面に仕上げてください。

断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について



- ◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。
法律で禁じられています。
- ◇断熱材で覆わないでください。
火災の原因になります。
- ◇住宅以外の建物に使用するときは、左図のように行ってください。

⚠ 注意

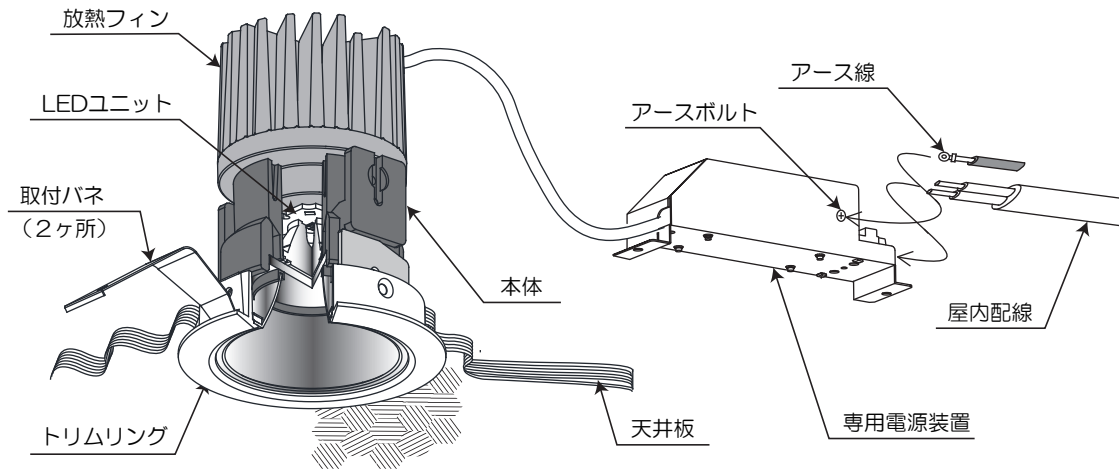
- ◇この器具はアース工事が必要な器具です。D種接地工事（第3種接地工事）を行ってください。
- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇器具を改造しないでください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇天井埋込専用ですので、壁取付けや天井直付けおよび傾斜天井への取付けはしないでください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇表示された電源電圧（**定格電圧±6%**）以外の電圧で使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇この器具は調光できません。調光器には接続しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇器具の使用環境温度は**5～35℃**、湿度**85%以下**の場所に設置してください。
誤って高温の所に設置しますと**火災の原因**となることがあります。
- ◇軒下などの屋側（雨線内）以外の屋外で使用しないで下さい。
- ◇腐食性ガスが出る場所で使わないで下さい。劣化による**落下の原因**になります。

お願い 電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

各部のなまえと取付けかた

(図は器具を省略、抽象化したものです)

△ 注意 必ず、電源が切っていることを確認してから、作業を開始してください。



1. 取付まへの確認をする

取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。不備がありますと**器具落下の原因**となります。また、取付工を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。不備がありますと**感電・不点灯・器具破損の原因**となります。器具を取付ける天井に凹凸がある場合は、器具取付部のパッキンが十分に押えられず防水・防湿性が損なわれますので、防水シール材で凹凸をなくし、平らな面に仕上げてください。不備がありますと、防水・防湿性が損なわれ、**漏電・火災の原因**となります。この器具はアース工事が必要な器具です。D種接地工事（第3種接地工事）を行ってください。不備がありますと、**感電・火災の原因**となります。

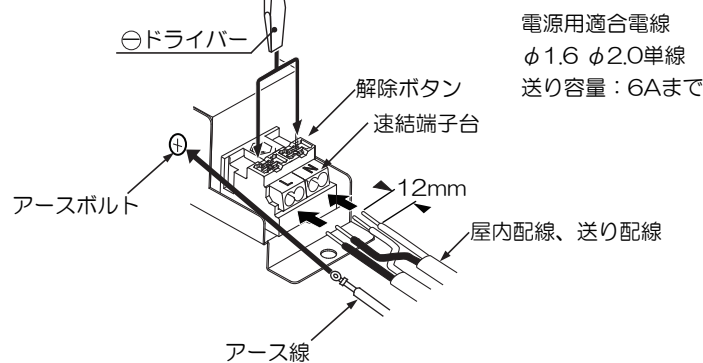
2. 切込寸法に従って天井に切込穴をあける

“定格表”を参考に天井に切込穴をあけます。切込寸法公差は**＋2、－0 mm**としてください。必要に応じて天井切込穴の周りに野縁を組込んでください。不備がありますと**器具落下の原因**となります。

3. 屋内配線およびアース線を取付ける (図1)

屋内配線の被覆を端子台上のストリップゲージにしたがって剥いて、専用電源装置上の速結端子台に確実に差し込みます。アース線は専用電源装置側面にあるアースボルトに確実に固定してください。端子台の送り容量を超えるなど、不備がありますと**火災・感電・不点灯の原因**となります。また器具本体に屋内配線を接触させないでください。不備がありますと**火災・感電の原因**となります。

(図1)

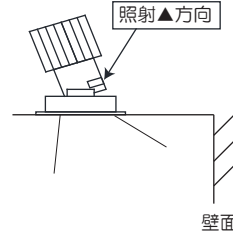


4. 器具本体を取付ける (図2)

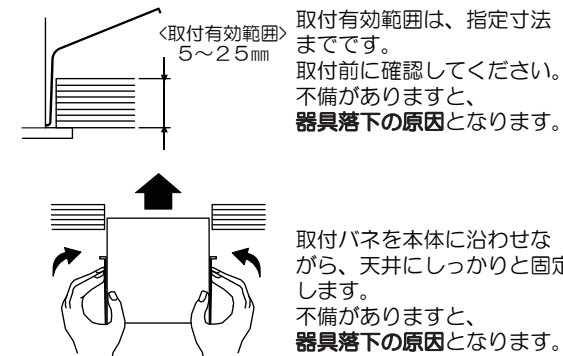
専用電源装置、器具本体の順に切込穴に入れ、2ヶ所の取付パネで確実に固定します。不備がありますと**器具落下の原因**となります。

<ウォッシュライトタイプ>

器具本体は本体に貼られた方向指示シールを照射方向に向けて取付けます。不備がありますと、**正しい光の効果が得られません。**



(図2)



■屋内配線・送り配線の被覆をむいて、矢印の方向に止まるまでぐっと差し込んだ後、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。外すときは、解除ボタンを⊖ドライバー等で押込んで外して下さい。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

△ 警告



火災のおそれがあります

- ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。また揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。
- ◇器具と被照射面との距離は、指定距離（定格表参照）より近くで使用しないでください。また照射面近接限度距離内にドア等の可燃物が接近しないように施工してください。
- ◇断熱材・防音材で覆わないでください。



やけどのおそれがあります

- ◇点灯中および消灯直後のLEDユニットにさわらないでください。



感電・火災のおそれがあります

- ◇器具及び部品の改造をしないでください。
- ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。



感電・火災のおそれがあります

- ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。

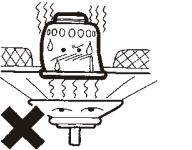
感電のおそれがあります

- ◇器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



△ 注意

- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（**6ヶ月に1回程度**）清掃、点検してください。器具の**ネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないか**お調べください。
- ◇**3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検**を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ**8～10年経過**しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換をしてください。
- 点検せずに長時間使い続けると、**感電・火災・発熱・性能劣化のおそれ**があります。（使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C 8105-1 解説による）
- ◇周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。不備がありますと、**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- ◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。
- ◇この器具のLEDユニットの交換は、**修理扱い**になります。詳しくは、この器具を**お求めの電気店・最寄りの弊社営業所**へお問い合わせください。
- ◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。**火災・発熱・器具破損の原因**となります。



保守とお手入れ

△ 注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- LEDユニットの寿命は、約 40,000 時間です。推定寿命はLEDの照度が初期値の70%に減退するのにかかる時間です。寿命を越えても点灯し続けますが、十分な性能が得られませんので、あらたな器具の施工をお勧めいたします。



お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具にさわらないでください。**感電するおそれ**があります。
- ◇点灯中及び消灯直後のLEDユニット周辺にさわらないでください。**やけどをするおそれ**があります。

